

科目名	比較心理学特殊研究	担当者	カワシマ 河嶋 タカシ 孝	期間	通年	単位数	4
-----	-----------	-----	------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	比較心理学は、かつては動物心理学と呼ばれ、現在では比較認知科学と呼ばれています。この科目では、人間以外の他の種の動物の行動に関する実験的研究を学んで頂きます。人間と他の種の動物とでは、共通する部分が多いことが理解できるでしょう。		
到達目標	動物研究の意義を理解できること。		
学修方法	レポートの草稿提出，添削，再提出という過程を経て学修します。		
スケジュール	前期，後期とも，レポートの提出期限を厳守して下さい。そのためには，提出期限のかなり前から草稿を提出しなければなりません。		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	90%	自分の言葉で論理的に記述し，本の丸写しをしないこと。
	平常評価	10%	添削後，あまり時間をおかないで修正稿を提出すること。
履修者への要望	「比較認知科学とは，ヒトを含めた種々の動物の認知機能を分析し比較することにより，認知機能の系統発生を明らかにしようとする行動科学である。いわば「心」の進化を科学的に解明しようというのがその目的である」（基本教材1の著者）。このための方法として用いられるのが実験的方法で，実験的方法にはどのようなものがあるかについて学んで頂きます。		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 藤田和生 教材名： 『比較認知科学への招待』（ナカニシヤ出版，1998年） ISBN:978-4-88-848437-4 2,500円+税 基本教材1は学部生向けの教科書として執筆され、比較認知科学の始まりから最近の問題に至るまで、動物の認知に関する実験的研究の成果がよくまとめられています。
参考図書	プフングスト, O. (秦 和子訳) 『ウマはなぜ「計算」できたのか--「りこうなハンス効果」の発見』（現代人文社，2007年） ISBN:978-4-87798-331-4 2,000円+税
履修上のポイント	20世紀の初め頃、ハンスという名前のウマが計算できるとして有名になりましたが、プフングストの実験によってその秘密が明らかになりました。参考図書により、実験的方法の有用性がわかります。(なお、2014年には別の訳者による翻訳も出版されましたが、秦和子の訳書の方がわかりやすいです。)
レポート課題1	基本教材の第1章から第5章までを要約して下さい。 <b>留意点</b> ：「要約」とは、予備知識のない人にもわかるように、内容をまとめるという意味です。
レポート課題2	基本教材の第6章から第10章までを要約して下さい。 <b>留意点</b> ：課題1と同じ。

基本教材 2	
教材の概要	(1) 著者名： Tomonaga, M. and Matsuzawa, T. 教材名： "Enumeration of briefly presented items by the chimpanzee ( <i>Pan troglodytes</i> ) and humans ( <i>Homo sapiens</i> )." <i>Animal Learning and Behavior</i> , 2002, 30, 143-157. (2) 著者名： Watanabe, S., Sakamoto, J., and Wakita, M. 教材名： "Pigeon's discrimination of paintings by Monet and Picasso." <i>Journal of the Experimental Analysis of Behavior</i> , 1995, 63, 165-174. (3) 著者名： Jitsumori, M., Wright, A., and Shyan, M. 教材名： "Buildup and release from proactive interference in a rhesus monkey." <i>Journal of Experimental Psychology: Animal Behavior Processes</i> , 1989, 15, 329-337. (4) 著者名： Manabe, K., Murata, M., Kawashima, T., Asahina, K., and Okutsu, K. 教材名： "Transposition of line-length discrimination in African penguins ( <i>Spheniscus demersus</i> )." <i>Japanese Psychological Research</i> , 2009, 51, 115-121. この4編は、比較認知科学に関する日本人研究者の代表的な論文です。履修者には担当教員がPDFファイルを送付します。
参考図書	渡辺茂 『ハトがわかればヒトが見える--比較認知科学への招待』（共立出版，1997年） ISBN:978-4-32-002857-9 2,400円+税
履修上のポイント	基本教材としてこの4編を採用したのは、実験心理学の方法を具体的に理解して頂くことを目的としています。実験論文では、実験方法（手続き）を理解することが重要です。専門用語の訳語は普通の辞書には出ていませんから、担当教員を辞書のように使って下さい。 参考図書としてあげた本により、鳥類を対象とする比較認知科学の現状が理解できます。
レポート課題1	基本教材2 (1), (2), (3), (4)のうち、1編を読み、内容を要約して下さい。 <b>留意点</b> ：(1)はチンパンジー、(2)はハト、(3)はアカゲザル、(4)はペンギンを対象としています。
レポート課題2	基本教材2 (1), (2), (3), (4)のうち、もう1編を読み、内容を要約して下さい。 <b>留意点</b> ：課題1と課題2は、別の論文を選んで下さい。